

## 第1回(仮称)地域活性化発信交流拠点基本計画策定検討委員会 議事録

1. 日 時:令和6年5月28日(火)9:30~11:00

2. 場 所:役場 401会議室

3. 出席者:八木信行委員、宮田佳律委員、有村誠委員、田畑和樹委員、浅沼克己委員、飯塚結花委員、林伊佐雄委員(オブザーバー)、岡崎優委員(オブザーバー)、中島豪誠委員(オブザーバー)

事務局 総合調整幹 近藤拓一郎 道路交通課 課長 若林崇幸 主幹 古寺克行  
主査 小原巴志 主任 白石直也

受託事業者 三井共同建設コンサルタント株式会社

4. 委員長・副委員長の互選

互選により、委員長を八木委員、副委員長を伊藤委員とすることを全会一致で決定。

5. 傍聴の可否について

検討委員会の傍聴を可とする。傍聴者 0名

6. 議 事:

(1)(仮称)地域活性化発信交流拠点の概要

(2)基本計画策定に向けた検討事項等

(3)基本方針・コンセプト(案)

(4)利用ニーズ調査

7. 議事要旨

・基本方針・コンセプト(案)は承認された。

・利用ニーズ調査は委員の意見を踏まえ内容を一部修正の上、実施することとなった。

8. 議事内容

【議事(1)(2)について】

事務局より(仮称)地域活性化発信交流拠点について、これまでの経緯および基本計画策定に向けた検討事項等の説明。

<意見なし>

#### 【議事(3)について】

基本方針・コンセプト(案)について、町の現状や課題、強みから拠点整備の方向性を説明。整備の方向性より基本方針1、2及びコンセプト(案)を説明。

- ・ターゲット設定をどこにするかが重要
- ・産学連携の観点より、研究機能があってもよい。(例:産学連携展示施設)
- ・世界農業遺産と連携し、地場産品を開発することも考えられる。(例 伝統的なチャクラシステム(カカオ)/エクアドルアマゾン)

#### 【議事(4)について】

(仮称)地域活性化発信交流拠点の主な利用者を想定し実施する利用ニーズ調査(①町民・周辺住民、②三芳 PA 利用者)について、概要及び調査内容を説明。

- ・基本方針 2 より埼玉県西部の中心として機能していくことについて、選択肢(例 産直機能等)を追加したほうがよい。〈町民・周辺住民アンケート〉
- ・この拠点が販路として生産者に興味をもってもらうためのキーワードを設問に取り入れていただきたい。〈町民・周辺住民アンケート〉
- ・「最も行く頻度の多い道の駅」だと行きやすさ(近さ)などが影響される。そのため、「行きたいと思う道の駅」など目的をもっていく道の駅を抽出できる設問がよい。〈町民・周辺住民アンケート〉
- ・三芳町のイメージとして、特産品「みよし野菜」などを追加し認知度がどの程度あるのかを図りたい。〈町民・周辺住民アンケート〉
- ・三芳町の認知度は、関越自動車道利用者(東京都、神奈川県、埼玉県)に多い印象を受けた。それ以外の千葉県等をどのようにターゲットに取り入れるかが重要である。
- ・Pasar には、「富の川越いも」や「お茶」もあり、Pasar にないものを見つけることは難しい。三芳町の特産品をどのように活かすかが重要である。〈三芳 PA 利用者アンケート〉
- ・オープンハウス形式の際、パネル掲示内容により回答が誘導される可能性があるため考慮が必要である。〈三芳 PA 利用者アンケート〉

以上